

30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50

山崎の文様



何代の文様

何十の文様

何百の文様

何千の文様

何万の文様



^ 13  
3756  
18





爲永春水作

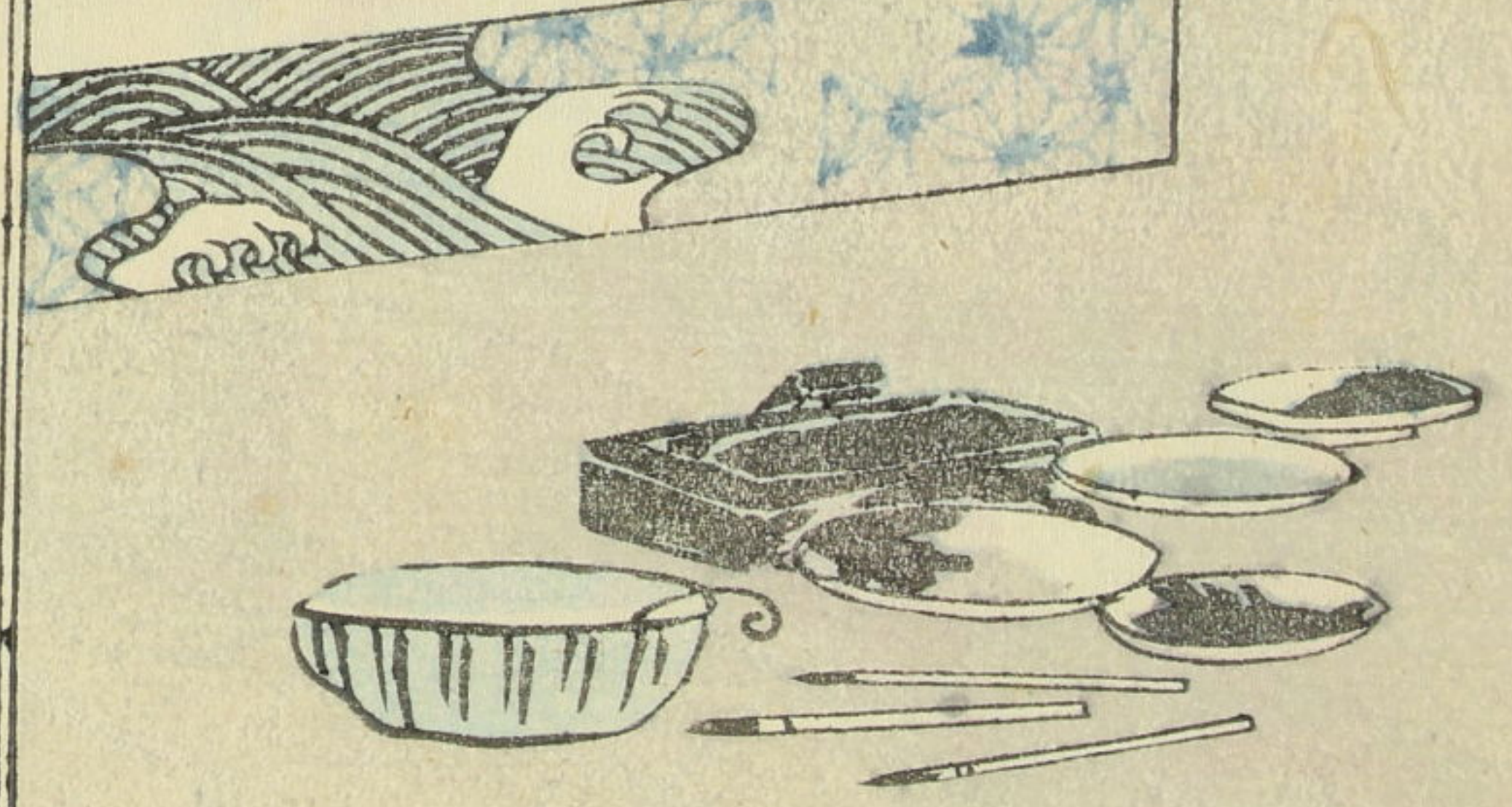
北雪  
美談時代如見

四十四編上

若  
板 典 芝

門 へ13  
3756  
18

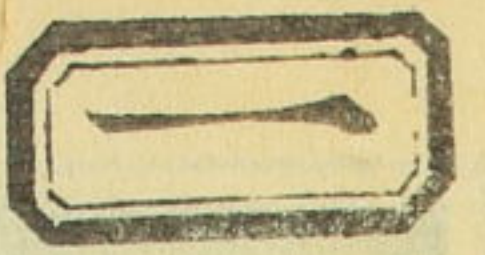
子の板  
歌川豊國画  
板元若林堂  
時代鏡 四拾四編上  
為永春水作



應神帝の九年とよ武内大臣の弟甘美内ある者兄を帝小讒して  
 曰臣兄非等を覬覦密謀して三韓を招き九州の地小據りて  
 然々後小中原を併吞せんの上のりて帝大い小駭きあひ賦て天使を  
 遣て死賜んく為さるる其名を直真根子といふ仁容貌甚武内小  
 似て今武内内忠々々斯々誣らるる誠深く惜く癡く小代つ々  
 自殺せし仍て武内都小飯り闕小詣りて寃を訴然も兄弟相爭  
 ろ其曲直を断むる更を是小於く神祇小盟ひ兩人をて湯と  
 探らせふ甘美内が手小忽ち爛と武内ハ手被傷る更が是湯起請の  
 濫觴小々緯に古傳説よ載られ世俗のく知る所ふれ今本編小其  
 儂を聊く假用をを依りて婦幼の為小記まると更志るり

明治八年亥の二月發兌

戲墨堂主人誌

















大いひくちのうらむ  
 こころのうらむ  
 けつろのうらむ  
 けつろのうらむ  
 けつろのうらむ  
 けつろのうらむ

あるりるららららららら  
 そとにせがなつてつてつて  
 あやまらうらや  
 らんくともうとのうらむ  
 けつろのうらむ



あまうとりのうらむ  
 けつろのうらむ  
 けつろのうらむ  
 けつろのうらむ  
 けつろのうらむ

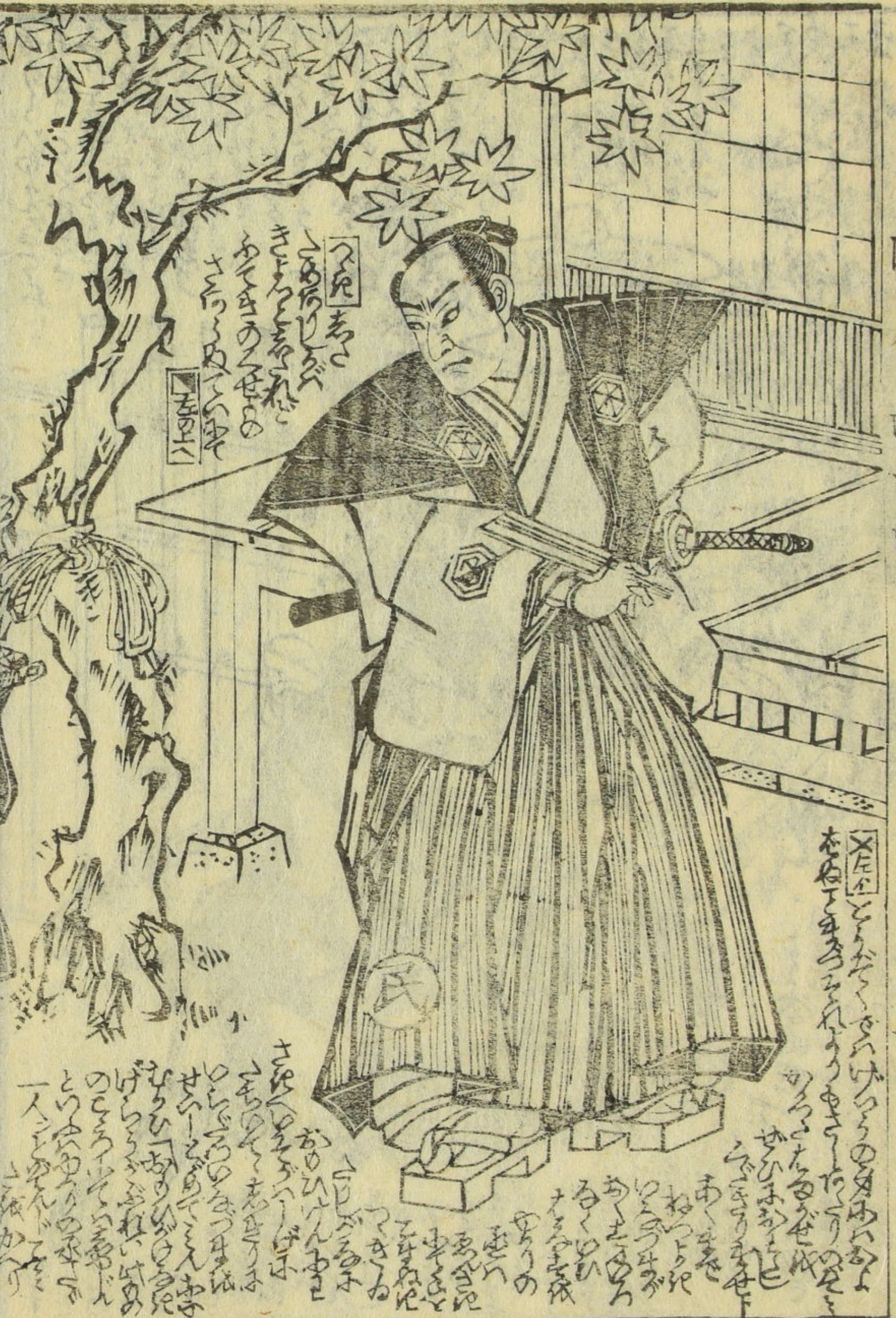
あまうとりのうらむ  
 けつろのうらむ  
 けつろのうらむ  
 けつろのうらむ  
 けつろのうらむ



友のこころ  
 おのれはか  
 おのれはか  
 おのれはか

おのれはか  
 おのれはか  
 おのれはか  
 おのれはか  
 おのれはか

おのれはか  
 おのれはか  
 おのれはか  
 おのれはか  
 おのれはか



友のこころ  
 おのれはか  
 おのれはか

おのれはか  
 おのれはか  
 おのれはか  
 おのれはか  
 おのれはか

おのれはか  
 おのれはか  
 おのれはか  
 おのれはか  
 おのれはか

時代 四十四

七







春水作豊國画

つねにわらわは  
こればかりであ  
らうまひり  
ごうりの  
まありの  
のそこの  
まひり  
ごうりの  
まありの  
のそこの

合巻の  
かのかい  
ごうりの  
まありの  
のそこの  
まひり  
ごうりの  
まありの  
のそこの

風流画半切

越前奉書紙。縮紙。伊豫奉書紙。

任齋百圖全

狂齋画

大綿四ッ切  
百枚揃

忠臣義士銘々傳

猛齋芳虎画

大巾き  
二ッ切  
半枚揃

新板

當年 新板  
嘉 出 條 一 新 志 家

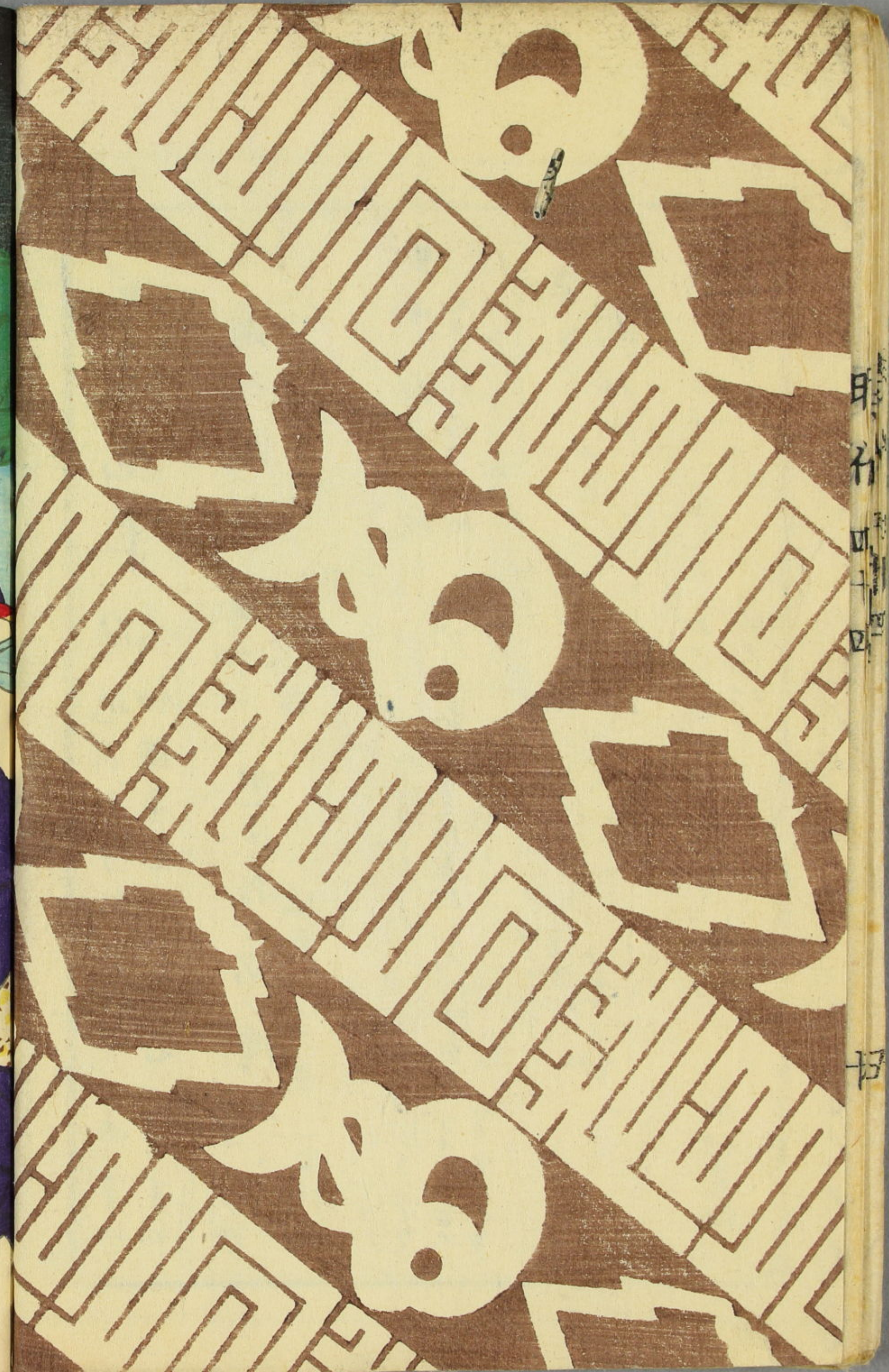
東中... 御筆... 若林堂板

若林堂板



歌川豊国画

下編四十四



明治  
四十四  
年

三  
 一  
 二  
 三  
 四  
 五  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十  
 十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五  
 十六  
 十七  
 十八  
 十九  
 二十  
 二十一  
 二十二  
 二十三  
 二十四  
 二十五  
 二十六  
 二十七  
 二十八  
 二十九  
 三十  
 三十一  
 三十二  
 三十三  
 三十四  
 三十五  
 三十六  
 三十七  
 三十八  
 三十九  
 四十  
 四十一  
 四十二  
 四十三  
 四十四  
 四十五  
 四十六  
 四十七  
 四十八  
 四十九  
 五十  
 五十一  
 五十二  
 五十三  
 五十四  
 五十五  
 五十六  
 五十七  
 五十八  
 五十九  
 六十  
 六十一  
 六十二  
 六十三  
 六十四  
 六十五  
 六十六  
 六十七  
 六十八  
 六十九  
 七十  
 七十一  
 七十二  
 七十三  
 七十四  
 七十五  
 七十六  
 七十七  
 七十八  
 七十九  
 八十  
 八十一  
 八十二  
 八十三  
 八十四  
 八十五  
 八十六  
 八十七  
 八十八  
 八十九  
 九十  
 九十一  
 九十二  
 九十三  
 九十四  
 九十五  
 九十六  
 九十七  
 九十八  
 九十九  
 一百

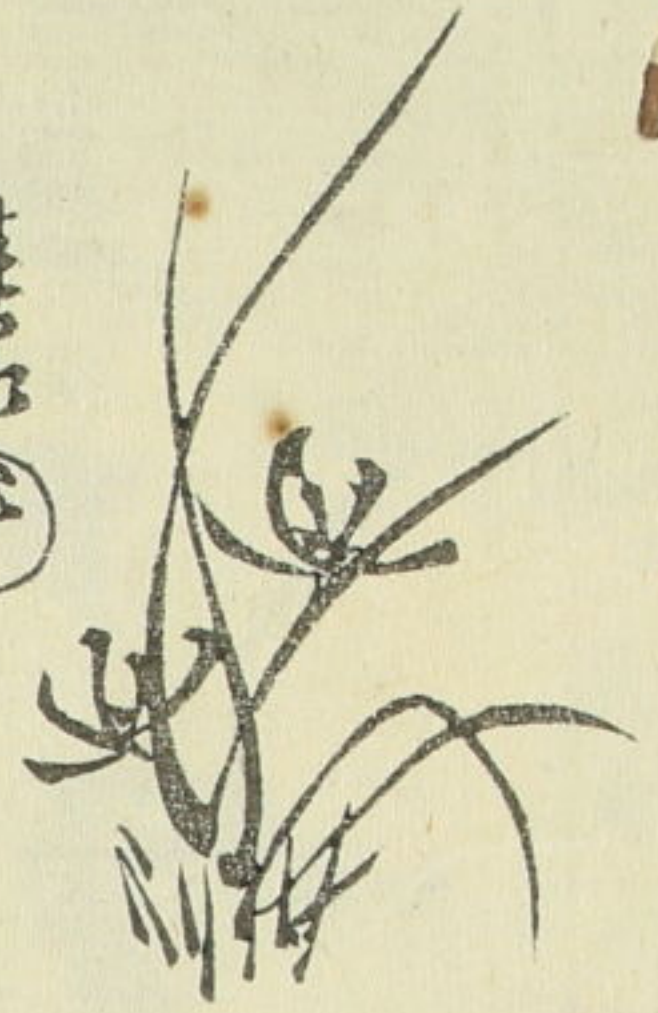


上  
 二  
 三  
 四  
 五  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十  
 十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五  
 十六  
 十七  
 十八  
 十九  
 二十  
 二十一  
 二十二  
 二十三  
 二十四  
 二十五  
 二十六  
 二十七  
 二十八  
 二十九  
 三十  
 三十一  
 三十二  
 三十三  
 三十四  
 三十五  
 三十六  
 三十七  
 三十八  
 三十九  
 四十  
 四十一  
 四十二  
 四十三  
 四十四  
 四十五  
 四十六  
 四十七  
 四十八  
 四十九  
 五十  
 五十一  
 五十二  
 五十三  
 五十四  
 五十五  
 五十六  
 五十七  
 五十八  
 五十九  
 六十  
 六十一  
 六十二  
 六十三  
 六十四  
 六十五  
 六十六  
 六十七  
 六十八  
 六十九  
 七十  
 七十一  
 七十二  
 七十三  
 七十四  
 七十五  
 七十六  
 七十七  
 七十八  
 七十九  
 八十  
 八十一  
 八十二  
 八十三  
 八十四  
 八十五  
 八十六  
 八十七  
 八十八  
 八十九  
 九十  
 九十一  
 九十二  
 九十三  
 九十四  
 九十五  
 九十六  
 九十七  
 九十八  
 九十九  
 一百

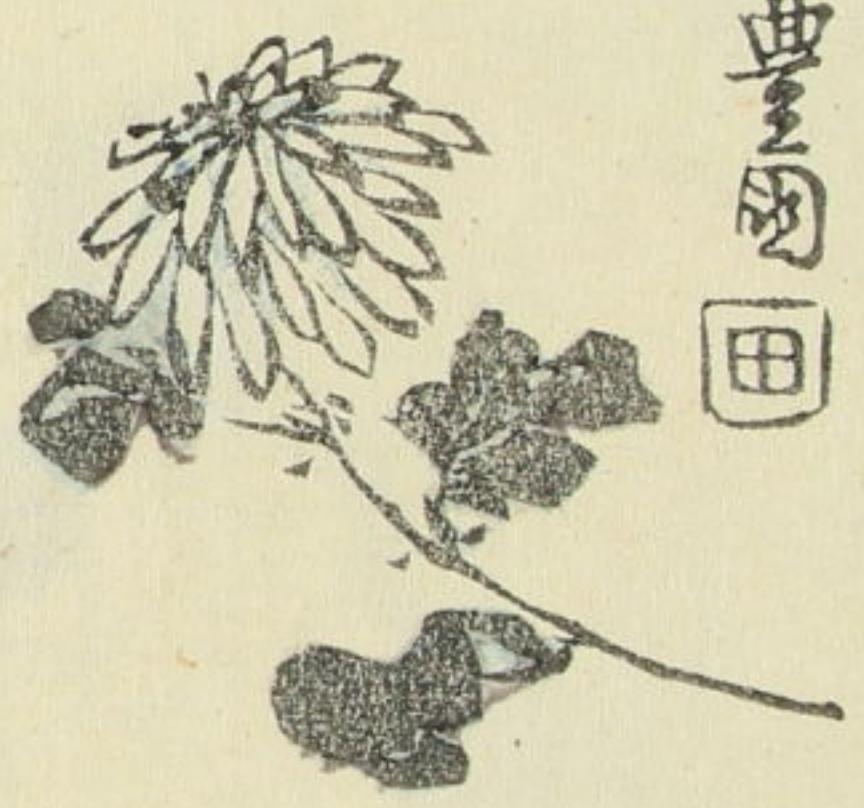
時代四

大雪義談時代鏡  
 四十疋編下之卷

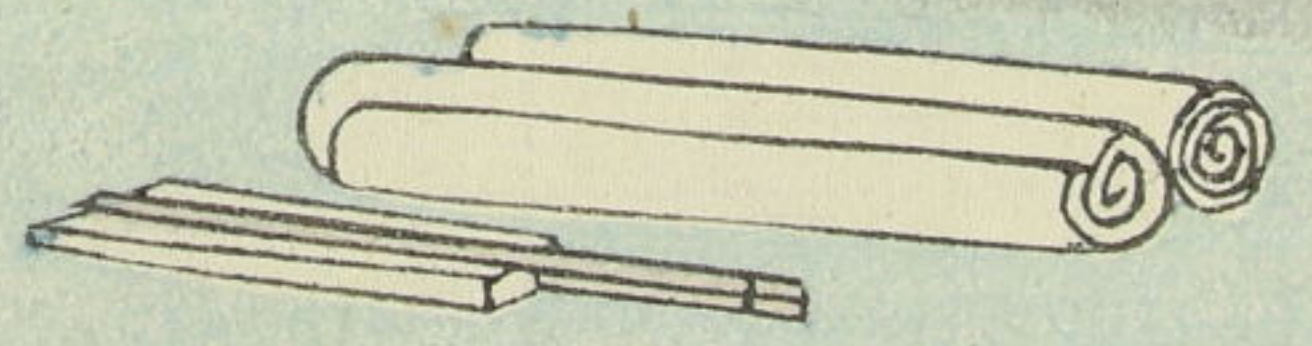
三  
 花



三  
 花



田  
 豐





吉原の女  
 とうとういひられお母さま  
 のあるお母さまのいひせん  
 あるお母さまのいひせん  
 あつちのいひせん  
 吉原の女  
 とうとういひられお母さま  
 のあるお母さまのいひせん  
 あるお母さまのいひせん  
 あつちのいひせん

吉原の女  
 とうとういひられお母さま  
 のあるお母さまのいひせん  
 あるお母さまのいひせん  
 あつちのいひせん  
 吉原の女  
 とうとういひられお母さま  
 のあるお母さまのいひせん  
 あるお母さまのいひせん  
 あつちのいひせん



吉原の女  
 とうとういひられお母さま  
 のあるお母さまのいひせん  
 あるお母さまのいひせん  
 あつちのいひせん  
 吉原の女  
 とうとういひられお母さま  
 のあるお母さまのいひせん  
 あるお母さまのいひせん  
 あつちのいひせん

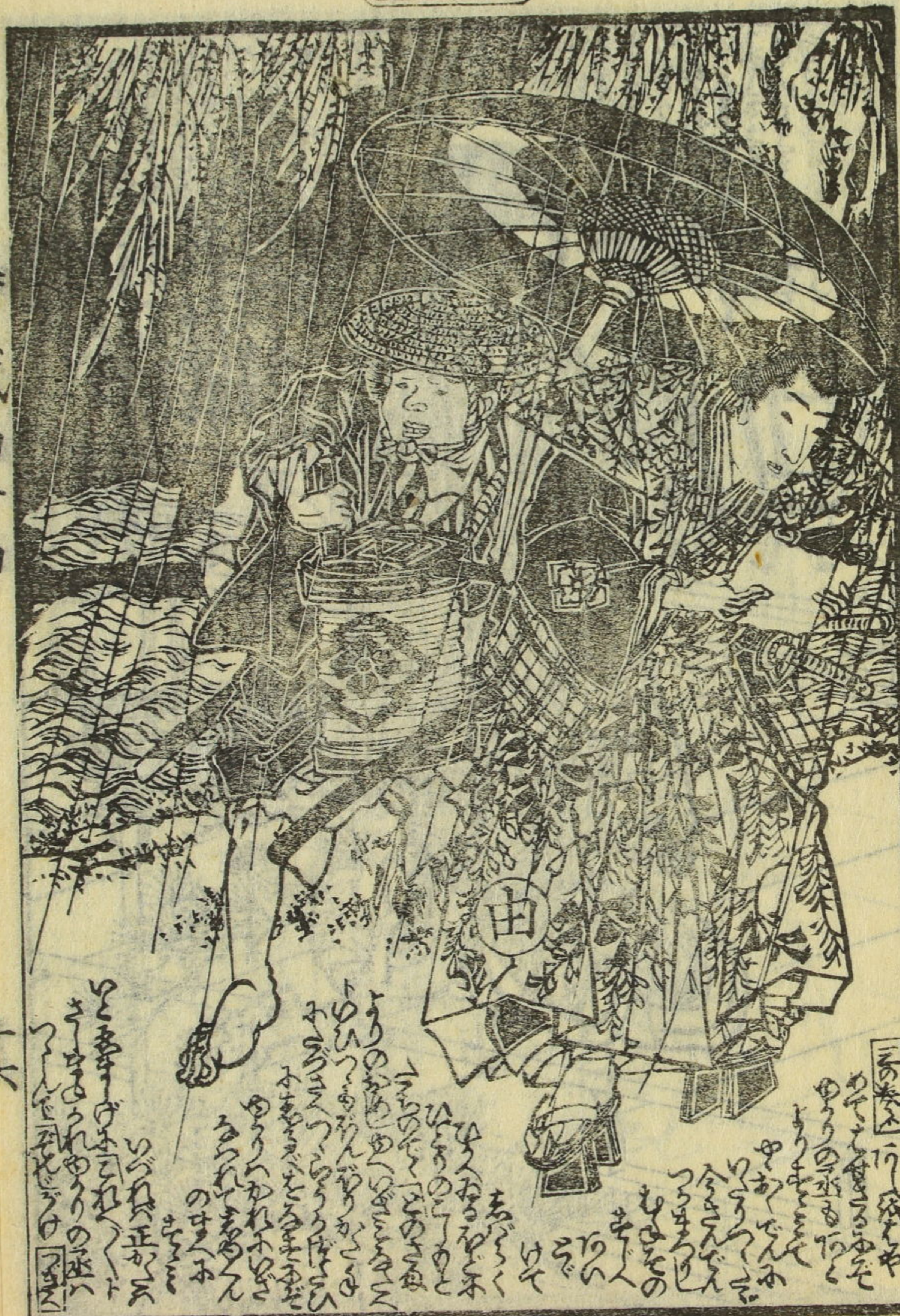
吉原の女  
 とうとういひられお母さま  
 のあるお母さまのいひせん  
 あるお母さまのいひせん  
 あつちのいひせん  
 吉原の女  
 とうとういひられお母さま  
 のあるお母さまのいひせん  
 あるお母さまのいひせん  
 あつちのいひせん











Handwritten Japanese text located below the illustration on the left page. The text includes a circular stamp with the character '由' (Yū) in the center. The characters are written in a cursive style, typical of Edo-period book illustrations.

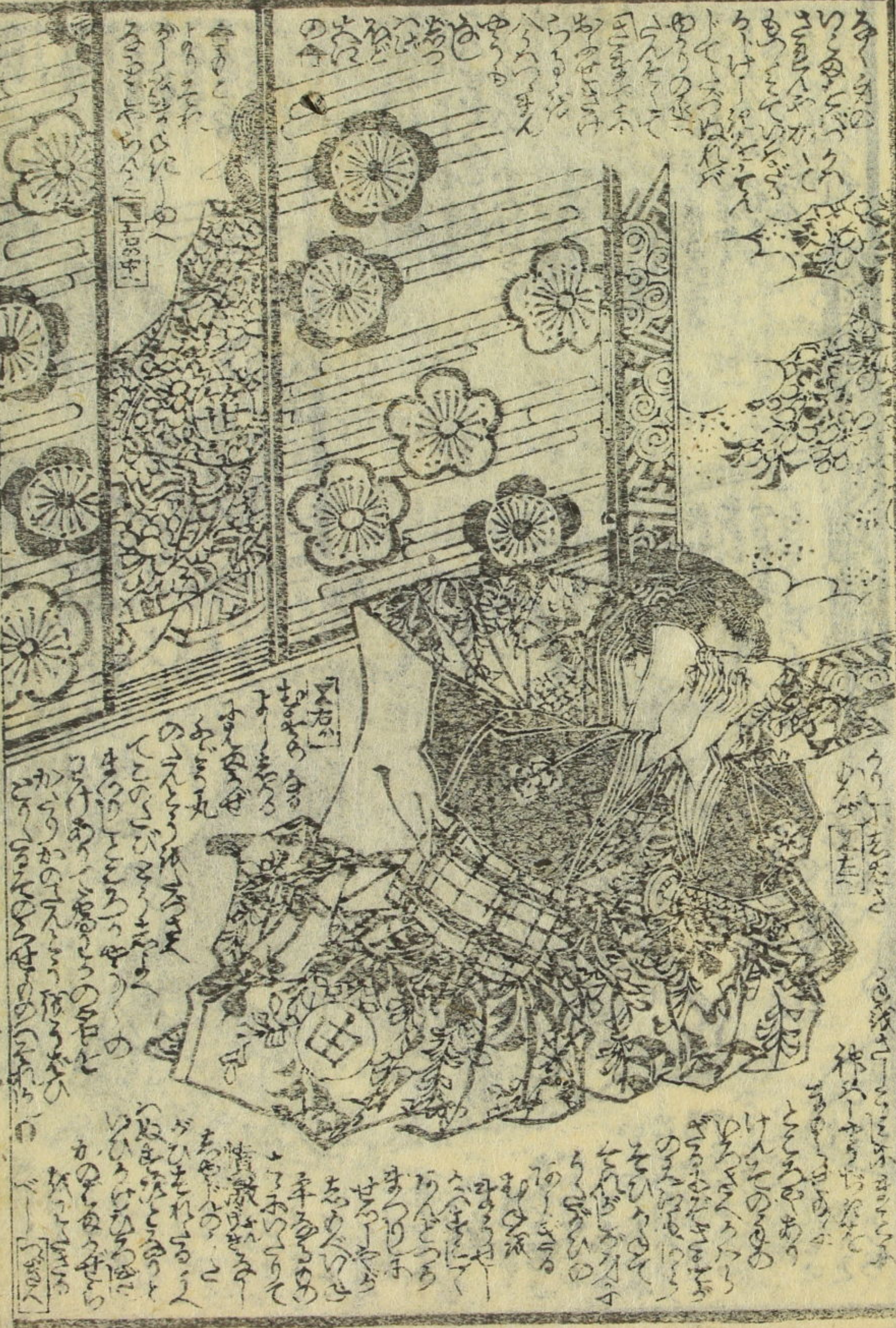
時代百一十番



Handwritten Japanese text located below the illustration on the right page. The text is arranged in vertical columns and includes several small circular stamps or marks.

時代百一十番

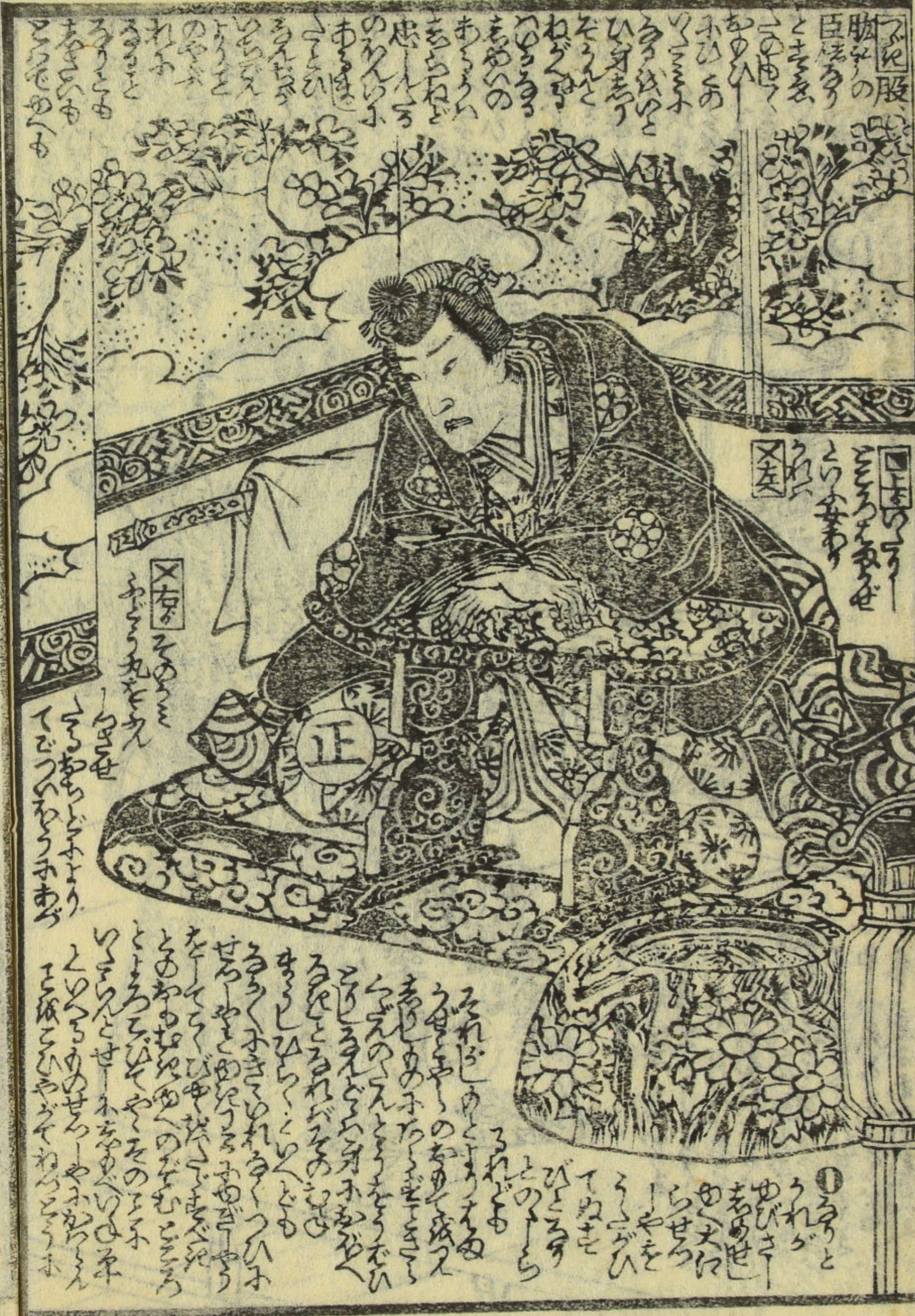




あはれ...  
 こころ...  
 うらみ...  
 恨み...  
 けしき...  
 状...  
 あり...  
 けしき...  
 あり...  
 けしき...  
 あり...

あはれ...  
 こころ...  
 うらみ...  
 恨み...  
 けしき...  
 状...  
 あり...  
 けしき...  
 あり...  
 けしき...  
 あり...

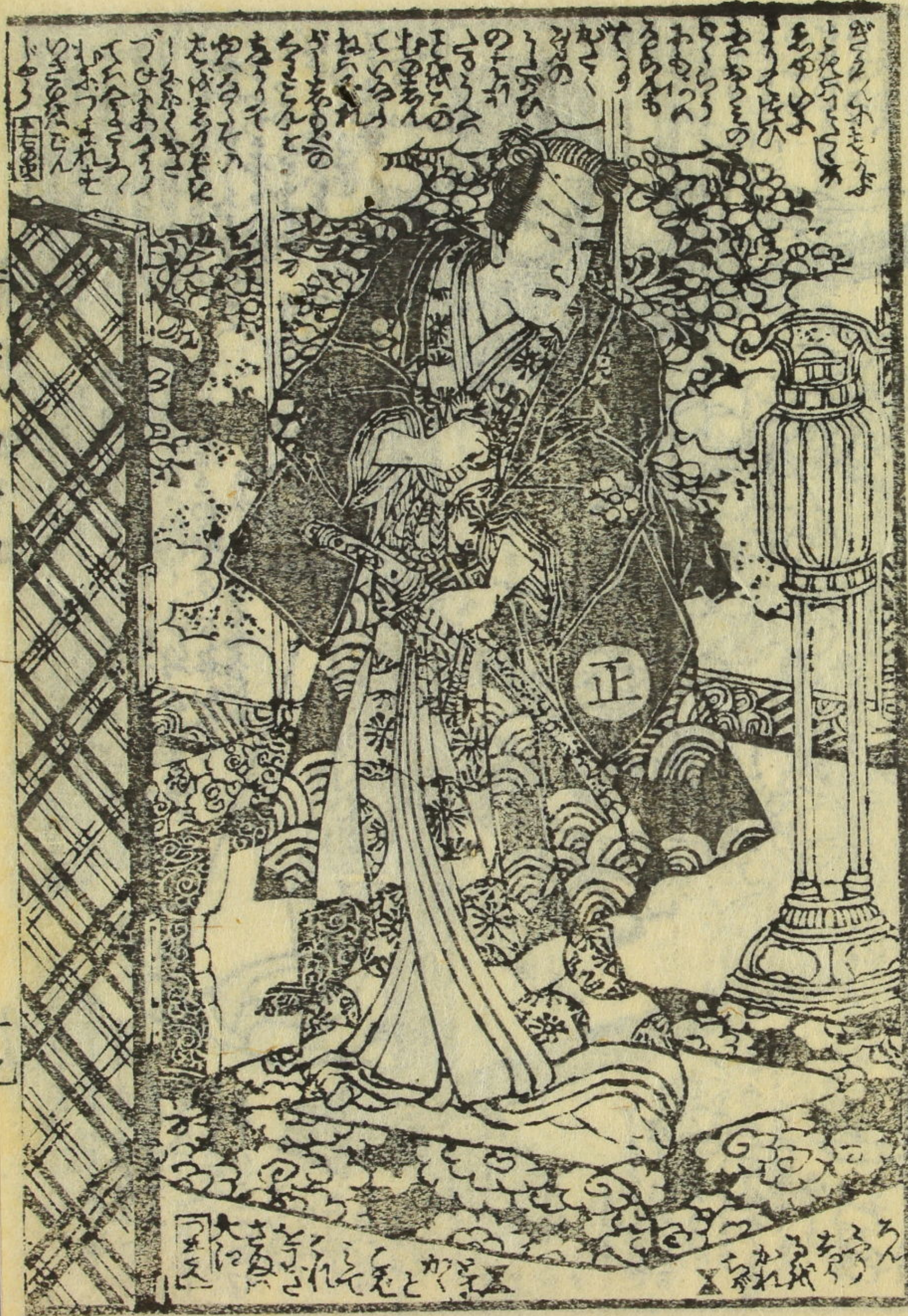
あはれ...  
 こころ...  
 うらみ...  
 恨み...  
 けしき...  
 状...  
 あり...  
 けしき...  
 あり...  
 けしき...  
 あり...



あはれ...  
 こころ...  
 うらみ...  
 恨み...  
 けしき...  
 状...  
 あり...  
 けしき...  
 あり...  
 けしき...  
 あり...

あはれ...  
 こころ...  
 うらみ...  
 恨み...  
 けしき...  
 状...  
 あり...  
 けしき...  
 あり...  
 けしき...  
 あり...

あはれ...  
 こころ...  
 うらみ...  
 恨み...  
 けしき...  
 状...  
 あり...  
 けしき...  
 あり...  
 けしき...  
 あり...



Handwritten text in vertical columns above the man, including the name 'Shōkōrin'.

Handwritten text in vertical columns below the man.



Handwritten text in vertical columns above the woman.

Handwritten text in vertical columns surrounding the woman, including names like 'Yūmei' and 'Yūmei no tsuma'.





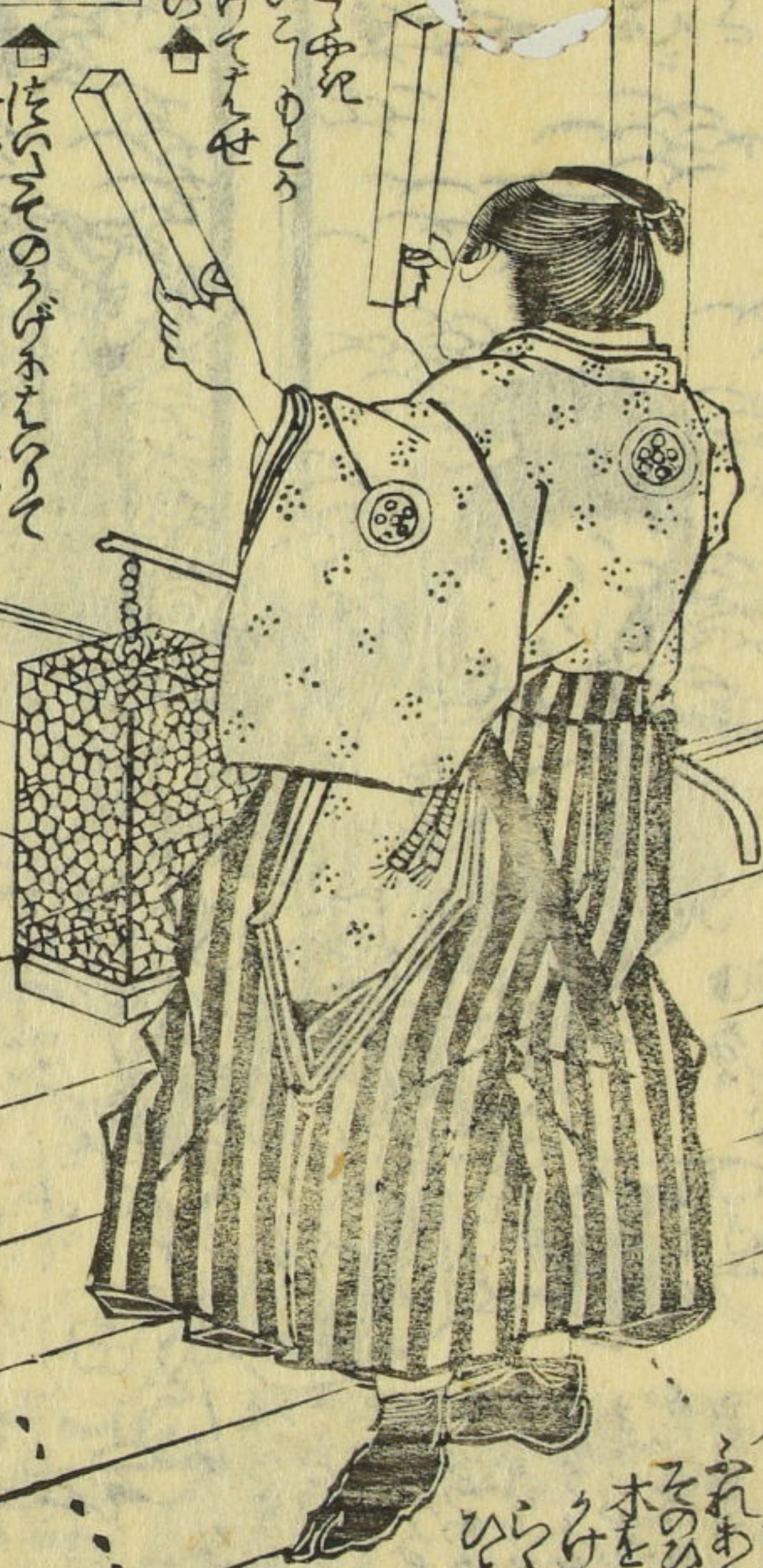
ついでに... 尾... 大...

朝牛肉丸... 鮮牛肉丸... 包金... 金末...

下谷三長町... 漆崎氏製

春水作豊國画

合は... 正か...



大... の... 今...

北雪 美談

時代加賀實

四一編

為永春水作 歌川國貞画

雑談

雨夜質庫

六編 七編

為永春水作 陽齋豊國画 門人 國久画

池園

の語

初編 二編

山々亭有人作 歌川國貞画

地本草紙問屋 若林堂

芝神明前

若狭屋與市様

